

小中一貫教育の客観的データが知りたい

小中一貫教育の実証的検証

心理学による子ども意識調査と教育学による一貫校分析



小中一貫教育は、子どもたちにどんな影響をおよぼしたのか？

心理学と教育学の科学的観点から読み出された、学校規模と子どもたちの発達の関係とは――

梅原利夫
郡誠学
山本由美
岡田有司
金子泰之
高知政博
佐賀浩

小中一貫教育の教育的効果とデメリットについて、心理学と教育学の側面から、教師による評価ではなく子どもの視点に重点を置いた研究の成果
2021.3 初版
(第1期~3期として2013~2019年までの調査研究)

- ★施設一体型、分離型、非一貫校 による比較
- ★施設一体型の小規模（児童生徒 200 人未満）
中規模（児童生徒 300~400 人）
大規模（児童生徒 1000 人以上）の比較

☆施設一体型小中一貫校に通っている小学校段階の児童は、非一貫校の児童と比較して、学校適応感が低い傾向にあり、疲労感が強く、自信や目標に挑戦するという姿勢が弱い。学業や対人関係、運動や自己の価値などで自分の有能さを感じにくく、自分のやりたいことや意見を明確に示すことが少ない

☆学校適応感は学校規模が拡大するとともに低下。学校が楽しい、学校へ行きたいという気持ちの強さは、児童生徒が通っているそれぞれの学校規模に依存するところがある

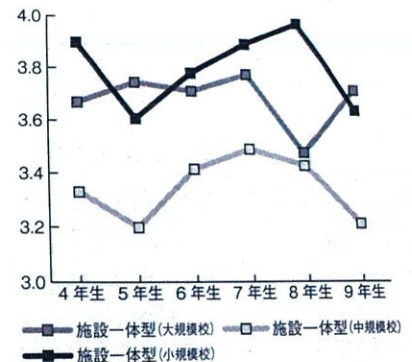


図2-16 学校適応感
↑中規模と大規模のグラフが色違いと出版社確認済み… p 27

学校適応感（楽しい、行きたいの気持ち）

非一貫校 > 施設一体型

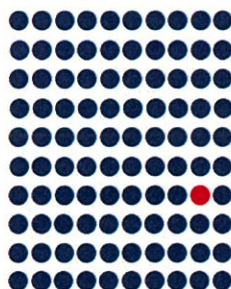
小規模校 > 大規模校



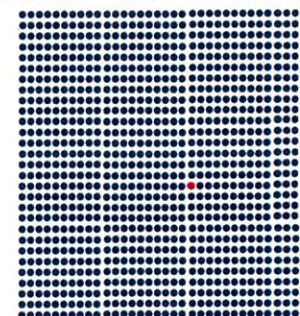
学校規模は 児童生徒の自己意識や他者意識の形成に影響する→慎重に考えたい



10 人の中の私



100 人の中の私



1000 人の中の私

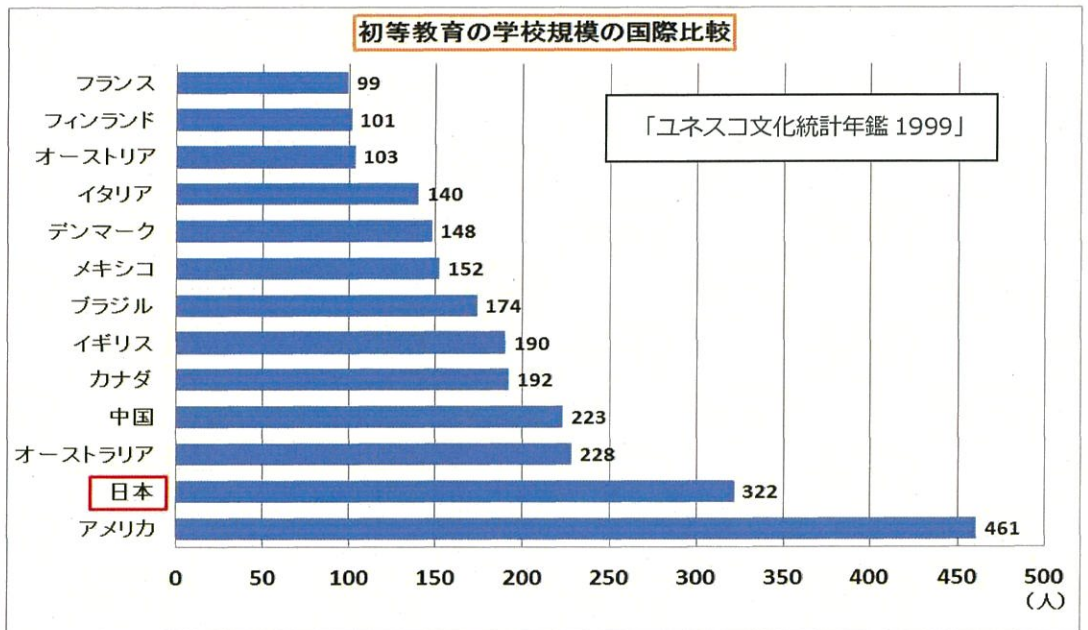
WHOの学校規模についての見解

大規模な機関においては回避することができない規則および規制を回避するためには、**教育機関は小さくなくてはならない**—カーティス報告が提案した**生徒100人を上回らない規模**—という点で意見が一致している。

非人格的な規則ではなく、人間的な関係に基づいたインフォーマルで個性的な教育は、こうした条件のもとで初めて可能になる。

(教育機関の内部の) 集団の規模に関しても意見の相違はまったくなく、小さな規模を保たなければならないという考え方で完全に一致している。

(カークパトリック・セール 『ヒューマンスケール』 教育不在の「教育」機関より)



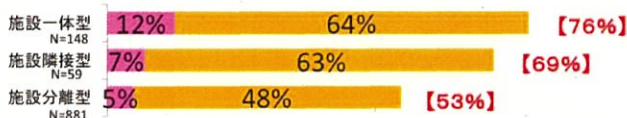
「小さな学校」「小さなクラス」ほど、学習意欲や態度が積極的になり、子どもたちの人格形成・人間的成長にとっても効果的であるという研究も

- ★学校の規模が小さいほど教育効果が高まる「コールマン報告」(1966年)
- ★学級の規模が小さいほど教育効果が高まる「グラス・スミス曲線」(1982年)

①児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



②児童生徒の自己肯定感が高まった

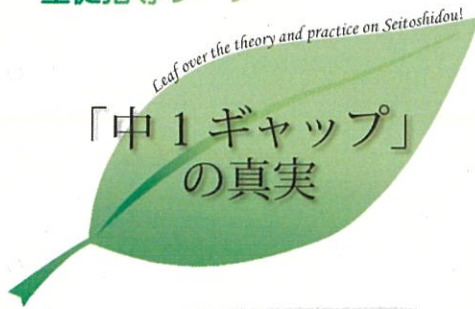


小中一貫教育等についての実態調査

(文部科学省 2014年)

では、すべての項目において成果があるように見えるのですが、他との結果の違いが気になりそれぞれの質問において共通の基準があるのか？誰がどのように判断して出したものなのか？文科省に問い合わせ中です^^

生徒指導リーフ



Leaf.15

生徒指導・進路指導研究センター



中1ギャップ?

- ◆「中1ギャップ」という語に明確な定義はなく、その前提となっている事実認識（いじめ・不登校の急増）も客観的事実とは言い切れない。
- ◆「中1ギャップ」に限らず、便利な用語を安易に用いることで思考を停止し、根拠を確認しないままの議論を進めたり広めたりしてはならない。

学校制度の違いという外的要因が種々の問題の主原因であるかのようなイメージを抱くと、問題の本質や所在を見誤り、間違った対応をしかねない

人数が減るから統廃合 と決めつける前に、
子どもたちにとって本当に最適な学校規模について

交野の学びのあり方、ビジョンを考えることから始めたい

当事者が不在 → 当事者を巻き込む体制づくり

新しくつくる学校に通う、子どもたちはまだ生まれていない。

この先通うかもしれない乳幼児の親は、日々の生活に忙しく将来の学校まで考えられないのが現状。

今、20年後を見据えて考えを深めていくことは大切だが、当事者不在で決めてしまってもよいのかな？

現状の学校の中の施設者朽化など困り事は将来に先送りせず、今の子どもたちのために解決して欲しいし将来の統廃合についてはまだ時間があるので、ここからみんなで考える長期的な展望を持って

住民に自分事として考えられるよう呼びかけをはじめていき、実際に統廃合を具体的に決定するときには当事者となる子どもや保護者の意見が反映されるように働きかけてはどうか。懇談会の様子やこれからの地域への説明会などもLIVE中継の他、アーカイブでいつでも見れるようにするとか、わかりやすい資料などで周知してはどうか。この件について興味は持っているものの、意見を言えずにいる人がいると思います。

他にも例えば年に一度、こどもの教室でどんな学校だったら楽しいかな？どんなことがしたい？何に困ってる？を制約せず語り合い、ヒントをもらうような場をつくるとか。一中校区の学校で実際運用したうでの良かった点、問題点を行政と地域住民、保護者、教員、児童心理の専門家等のチームで検証するとか。

10年後、20年後の環境や価値観が変容していてもそれに対応できるように計画を進めてほしい。

大人にとって都合のよい学校環境ではなく
子どもたちにとってよりよい学校環境をつくりたいです